

めぐみイエス・キリスト教会

2018年3月18日(日)第三聖日礼拝
週報「通算第397」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年3月18日(第三聖日礼拝)

午後6時～7時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】

【賛美Ⅰ】 新聖歌266「罪、咎を赦され」 p. 418

【交読文】 No.48 イザヤ書第35章 p. 917

【賛美Ⅱ】 新聖歌407「イエスよわが身と」 p. 652

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.1 「ビジョン」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書14章4節(新約p. 191上段)

【祈 禱】

【説 教】 《あなたがたは知っています》 鈴木竜実牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 ヨハネの福音書14章4節

14:4 「私の行く道はあなたがたも知っています。」

※異本 「私がどこへ行くかあなたがたは知っており、またその道も知っています。」

●ポイント1「私は場所を備えに行くのです」とは？

※ヨハネの福音書14章1節～3節「私の父の家」 (新約p.191上段)

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。私が行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたを私のもとに迎えます。私のいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」

●ポイント2「どこへ行く」とは？

※ヨハネの福音書13章1節「父のみもとに」 (新約p.189上段)

13:1 さて、過越の祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。

※ヨハネの福音書14章6節「私を通してでなければ」 (新約p.191下段)

14:6 イエスは彼に言われた。「私が道であり、真理であり、命なのです。私を通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

●ポイント3「その道」とは？

※マタイの福音書20章17節～19節「三回目の受難予告」(新約p.36下段)

20:17 さて、イエスは、エルサレムに上ろうとしておられたが、十二弟子だけを呼んで、道々彼らに話された。

20:18 「さあ、これから、私たちはエルサレムに向かって行きます。人の子は、祭司長、律法学者たちに引き渡されるのです。彼らは人の子を死刑に定めます。

20:19 そして、あざけり、むち打ち、十字架につけるため、異邦人に引き渡します。しかし、人の子は三日目によみがえります。」

※マタイの福音書26章1節～2節「最後の受難予告」 (新約p.49下段)

26:1 イエスは、これらの話をすべて終わると、弟子たちに言われた。

26:2「あなたがたの知っているとおりに、二日たつと過越の祭りになります。人の子は十字架につけられるために引き渡されます。」

※第一コリント1章18節・23節～24節「十字架の言葉は」 (新約p.291上段)

◎先週のメッセージの概要【場所を備えに行くのです】

《「あなたがたは心を騒がしてはなりません。」とは、これから弟子たちに大きな試練がやって来ることを、イエス様は預言されているのです。

イザヤ書には、「見よ。私はシオンに一つの石を礎として据える。これは、試みを経た石、尊いかしら石。これを信じる者は、あわてることがない。」と書かれています。このみ言葉を、使徒パウロは、その書簡に何度も引用しています。『「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」』と。

私たちは、突然予期せぬことが起こると、心を騒がす者であり、あわてる者であり、また失望する者なのです。

イエス様は、「神を信じ、また私を信じなさい。」と言われましたが、原語では、命令形が使われています。よって、「神を信じよ。私を信じよ。これは命令である。」となるわけです。主イエス様のご命令ですから、私たちは従わなければなりません。たとえ五感が拒否したとしても、信じることを選ばなければならないのです。

さて、イエス様は、使徒たちに、「あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。私が行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたを私のもとに迎えます。」と約束されました。特に「また来て」と言われたことから、このみ言葉が成就する時は、再臨後になることは間違いありません。

「私の父が私に王権を与えてくださったように、私もあなたがたに王権を与えます。それであなたがたは、私の国で私の食卓に着いて食事をし、王座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。」と、イエス様は言われましたが、これこそが、弟子たちに約束された預言の詳細です。

また、今現在生きている私たち信者は、携挙の時に、その恩恵に預かることとなります。その時、主ご自身天から下って来られます。私たちは、たちまち雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主と共に、主の備えられた場所にいることとなります。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、3月25日(日)午前10時から行ないます。また次回聖書研究会・祈祷会は、3月21日(水)午後6時15分です。3月28日(月)はお休みです。
2. 鈴木師は、3月19日(月)TPC昼礼拝(説教尾山令仁先生)の奏楽を担当します。またITCN午前集会(説教坂本秀雄先生)に参加して来ます。